



壁を耐震改修補強した事例

簡易耐震診断の結果、総合評点が0.43のため、『倒壊または大破壊の危険があります』となり、総合評点を1.06にする耐震改修補強工事を実施した事例。

(\*工法により施工方法は異なります。)

- 建築年度：昭和48年度
- 改修年度：平成25年度
- 構造/階数：木造2階建
- 延べ面積：約86㎡
- 改修費用：約290万円（消費税込）
- 工事内容の概要
  - 壁耐震補強数：9箇所
  - 基礎補強数：1箇所
  - 柱金物等補強数：16箇所
  - 屋根の軽量化

備考

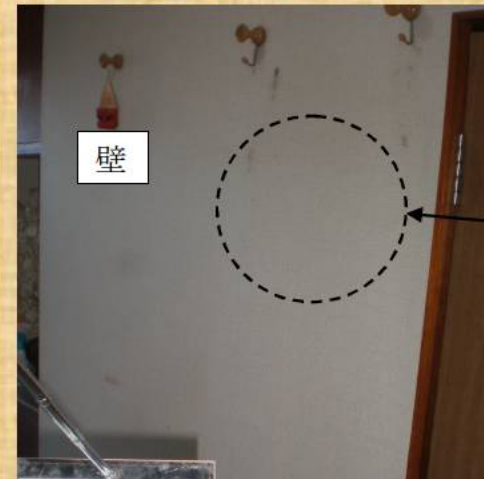
—

総合評点

木造住宅の簡易耐震診断は、地盤・基礎、建物形状、壁の配置（偏心）、筋違、壁の割合（壁量）、老朽度の各項目についてそれぞれの状況により評点をつけた上で、各評点を掛け合わせて総合評点を求めます。総合評点と判定の関係は以下のとおりです。

総合評点	判定
1.5以上	安全です
1.0以上1.5未満	一応安全です
0.7以上1.0未満	やや危険です
0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります

耐震改修工事前の状況



工事順番①

**改修概要**  
室内からの撮影状況  
工事前の状況  
  
家具などは工事する範囲から移動して工事を実施

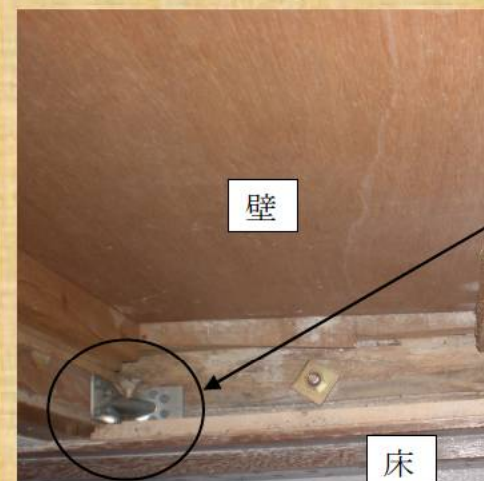
耐震改修工事中の状況



工事順番④

**改修概要**  
室内からの撮影状況  
  
耐震ボードを設置

耐震改修工事中の状況



工事順番②

**改修概要**  
室内からの撮影状況  
  
耐震金物補強工事状況

耐震改修工完了の状況



工事順番⑤

**改修概要**  
室内からの撮影状況  
  
耐震改修工事完了  
鏡設置

耐震改修工事中の状況



工事順番③

**改修概要**  
室内からの撮影状況  
  
耐震壁下地を設置